



Press Release

2002年10月2日

報道関係各位

株式会社 大和総研
東京都江東区冬木15-6

機関投資家向け次世代システム“FAIMS シリーズ”を発表

- 第一弾として投信会社向けシステムを提供 -

株式会社大和総研(本社:東京都江東区、社長 川上達彦、以下大和総研)は、総合的な次世代資産運用管理システムとして、新たに“FAIMS(フェイムズ)シリーズ”を発表し、シリーズ第一弾として、投信会社向けシステム“FAIMS/IT”のサービス提供を開始しました。

大和総研では機関投資家(投信・投資顧問、生保、損保、信託等)を中心にこれまで約120社のお客様に対して、証券・金融のノウハウを活かしたシステムサービスを提供して参りましたが、昨今のお客様の高度化・多様化したニーズにお応えするために、この機関投資家向けシステムを全面的に刷新し、“FAIMS シリーズ”を順次展開していくことになりました。

1. 投信会社向けシステム“FAIMS/IT”とは

基準価額算出など投信会社のバックオフィス業務を支援するシステム“I-TAPS”の全面再構築版で、これまでに比べ、STP 対応(STP :ストレート・スルー・プロセッシング:全電子処理)、コンプライアンスチェック、ディスクロージャー支援など、ミドルオフィス業務支援を中心に大幅な強化を図りました。ハードウェアの変更による運営コストの削減、また、ソフトウェアの全面刷新においては、今まで煩雑であった投信会社の事務処理の合理化と省力化を実現致しました。

2. システムの特徴

1) インターネット技術の活用

投信会社向けシステムとしては、国内初の Web ブラウザから利用できるシステムになっております。UNIX サーバーを複数用いた分散処理により、従来の大型汎用機によるシステムに比べ、サービス規模に見合った構成が取れ、将来の拡張性にも優れた設計になっています。

2) 安全性、信頼性の確保

全ての機器、ネットワークを二重化または冗長構成とする事で、安全性、信頼性を確保しております。24 時間 365 日システム監視を行っており、障害が発生しても即座に対応できる体制を整えております。

3) 各種監査・コンプライアンス・金融庁検査マニュアルへ対応

投信各社が注力している、監査、コンプライアンス対応について、セキュリティ機能の強化、証跡記録機能、帳簿の電子管理機能などをもって応えております。本年6月21日通達の「投資信託委託業者・投資法人・投資顧問業者に係る検査マニュアル」にあるオフサイトバックアップサイトについても現在準備中です。

4) 事務コストの低減

操作性、照合機能の大幅強化、STP機能の充実などにより、事務の省力化、残業抑制、人員削減を図れます。事務のアウトソースについても、自社事務に容易に切り替える事が可能になり、事務コストの低減に結びつける事ができるようになります。

3 . FAIMS シリーズ

FAIMS シリーズは、次世代の資産運用管理システムのデファクトスタンダードを目指し、投資顧問、生損保、信託銀行の各サービスを、今回の投信サービスと共通のプラットフォームに乗せて提供してまいります。

別紙：FAIMS シリーズ・システムマップ

以上

報道関係のお問い合わせ先：

広報部 江藤

電話（03）5620-5429

製品に関するお問い合わせ先：

金融ソリューション推進部 瀬川、花水

電話（03）3820-4775